



2024年11月20日

各位

会社名 株式会社ニューテック
代表者名 代表取締役社長 早川 広幸
(コード番号 6734 東証スタンダード)
問合せ先 取締役副社長兼管理部長 宮崎 有美子
電 話 03-5777-0888

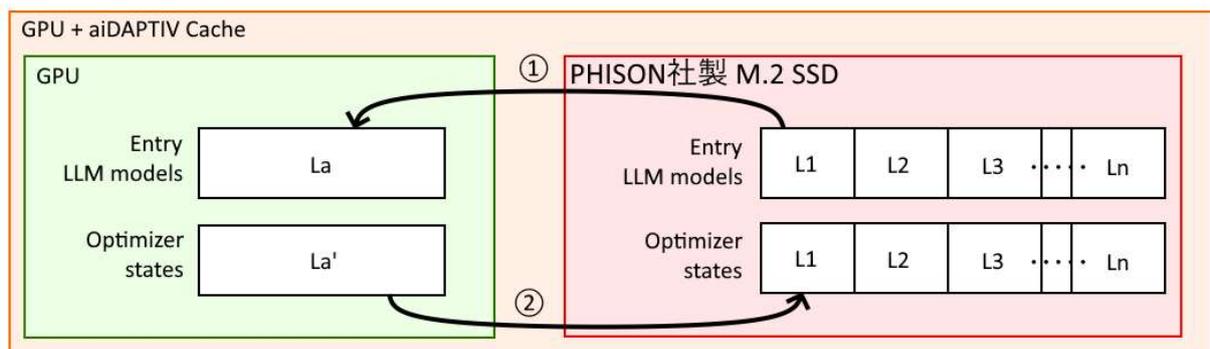
ニューテック、aiDAPTIV+の販売を開始 - PHISON 社開発 LLM 学習用途特化ソリューション -

株式会社ニューテック(本社:東京都港区、代表取締役社長:早川 広幸、東証スタンダード:6734)は、株式会社ファインソニック・エレクトロニクス(Phison Electronics Corp. 本社台湾)が開発した大規模言語モデル(LLM)学習用途に特化したソリューション「aiDAPTIV+」の販売を2024年12月より開始いたします。

aiDAPTIV+は、LLMの学習用途に対して非常に有効なソリューションです。LLM学習を実行するためにはGPU搭載メモリが大量に必要です。しかし、昨今GPUは価格高騰や入手難があり、LLM活用の入り口に立つことが非常に困難となっていることが現実です。

この問題を解決するためにPHISON社ではGPUメモリの役割を自社製の特別に製造されたSSDと自社開発のミドルウェアを組み合わせることで補完する技術を開発いたしました。それが『aiDAPTIV+』です。この技術を用いることで低価格かつ低電力で大規模言語モデルの学習を始めることが可能になります。

GPU + aiDAPTIV+での動作について



aiDAPTIV+では、SSDをVRAMと見立ててデータをSSDにオフロードしLLM学習を実行します。そして、LLMを分割・小分けにしてGPUへ送って学習を行うことで今まで多量のGPU(搭載メモリ)を用意しなければ学習を始めることもできなかったLLMの学習がH100等に比べて比較的入手の容易なRTX 6000adaやRTX 5000adaで始めることが可能になります。DGX H100利用時と同等の処理時間では実行できませんが、学習に必要なGPUを安価なクラスへ置き換え、必要なGPUの数を減らし、SSDに置き換えることは初期費用の低減だけでなく実行時の消費電力が低下することで、LLM活用のハードルを下げる事が可能になります。

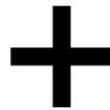
aiDAPTIV+を使用した時の DGX H100 との比較 (PHISON 社調べ)

構成	Node	GPUの数 (DRAM)	価格比率	学習時間(日)	消費電力(W)
DGX H100	3	24	1	0.22	8.4k
		1920GB			
aiDAPTIV+ RTX 5000ada	1	4	約1/80	5.3	1.0k
		128GB			
aiDAPTIV+ RTX 6000ada	1	4	約1/40	3.8	1.2k
		192GB			

aiDAPTIV+ 構成例



Cloudy DP (GPU サーバ)



PHISON社製 aiDAPTIV+

製品ページ

aiDAPTIV+ <https://www.phison.com/ja/aidaptiv-plus-ai-data-storage-solution>

Cloudy DP https://www.newtech.co.jp/products/detail/cloudy_dp.html

Cloudy DP に aiDAPTIV+をセットアップしたアプライアンスサーバとしてご提供いたします。

11/20-22 パシフィコ横浜で開催される EdgeTech+2024 立花エレテック様ブースにて本ソリューションに関する展示をいたします。是非お立ち寄りください。

立花エレテック <https://online.tc-kiwami.jp/public/seminar/view/8489>

EdgeTech 2024/11/20 (Wed) - 2024/11/22 (Fri)

10:00 - 17:00 (21 日のみ 18:00 まで)



なお、初年度の売上は今期業績見込に織り込み済みです。

本件に関するお問い合わせは、下記までお願いします。

お客様:株式会社ニューテック 営業部

TEL: 03-5777-0852

E-mail: sales@newtech.co.jp

報道関係様:E-mail: ad@newtech.co.jp

記載されている会社名、製品名等は、各社の商標または登録商標です。ニュースリリースの情報は、発表日時点のものです。その後、予告なしに変更されることがありますので、予めご了承ください。